

「SLは 三重連で 力持ち」

SL三重連



矢立峠は奥羽本線で屈指の難所と言われていました。そのため、この峠を越えるには、SL（蒸気機関車）1両では登り切れず、D51などが3両連なって登っていました。その様子は、NHKの「新日本紀行」で放映されたこともあります。昭和46年に、矢立トンネル経由の新ルートが完成し、勾配が緩和されました。

現在は、かつてのトンネルと軌道跡、そして、石碑を残すばかりとなりました。